

お母さんへ コミュニケーションブックの使用



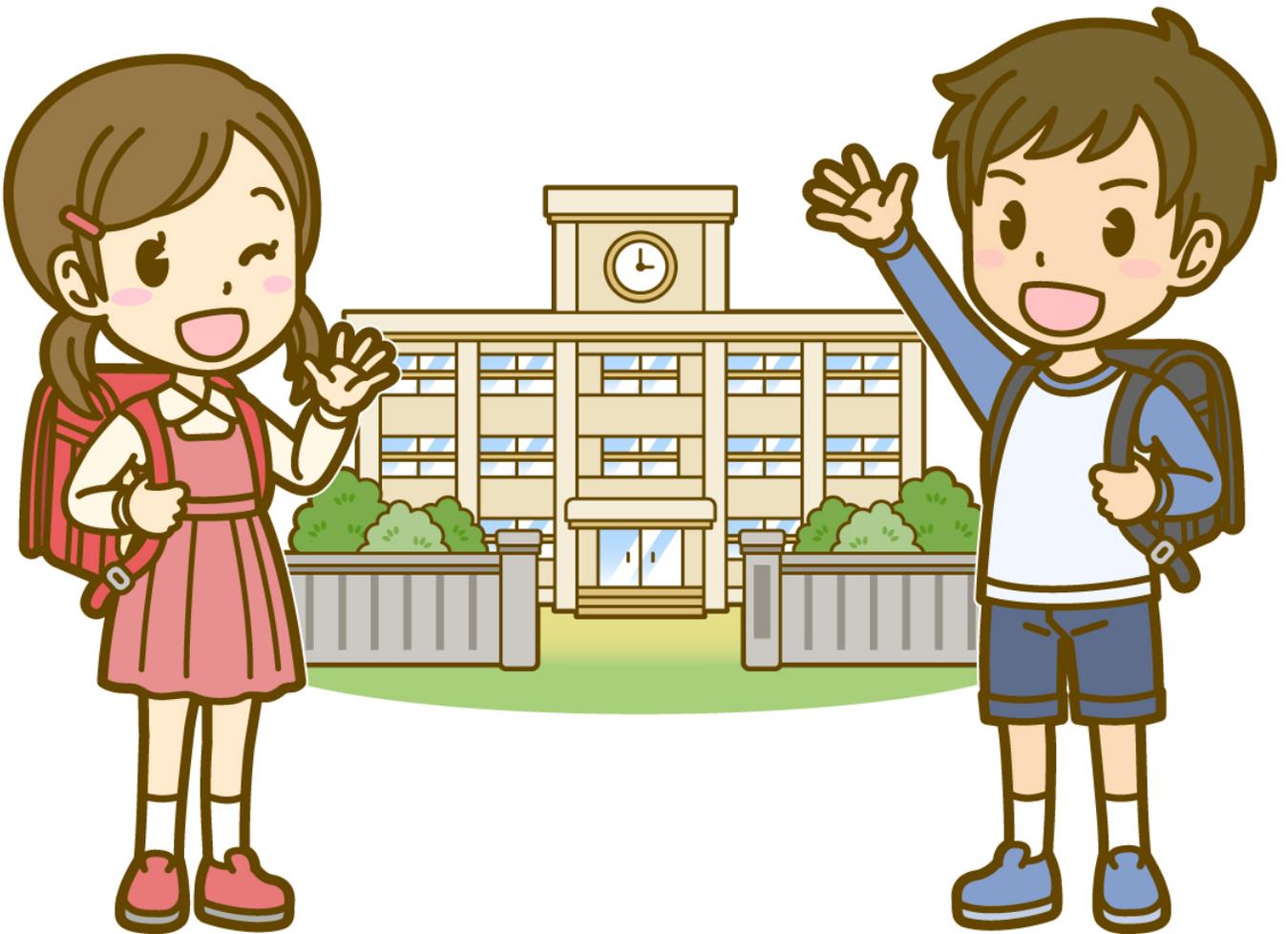
【目次】

- 1 表紙
- 2 コミュニケーションブックについて
- 3 プロフィール
- 4 得意・好きなこと
- 5 苦手・嫌いなこと
- 6 子どもの特性
- 7 感覚の過敏性
- 8 その他の伝えたいこと
- 9 先生のコメント
- 10 コミュニケーションブック活用法
- 11 子どもとのコミュニケーションが
スムーズになる4つのステップ
- 12 発達科学コミュニケーション式
子どもが喜ぶ言葉&やる気アップの声かけ

- ★A4用紙に印刷してください。
カラー印刷をおすすめします。
- ★ファイリングして担任に渡してください。
- ★情報の変更などがありましたら、
必要ページをプリントアウトし、
用紙を差し替えてください。

確認印

先生とお母さんの コミュニケーションブック



名前：

コミュニケーションブックについて

このパーフェクトブックは、が集団生活を楽しく送るために作成しました。

の特徴やコミュニケーションのヒントが書かれています。家庭で行ってきた支援方法を具体的に書いています。子どもが困った時や混乱してしまった時に参考になる情報や、笑顔を引き出すツボも盛り込んでいます。

場面や状況に応じて、ご活用いただければ幸いです。子どもの行動や特徴は発達とともに変化していきます。家庭だけでは分からない部分もあると思いますので、ご意見やアドバイスをいただき、より良いものにしていきたいと思います。

・・・取り扱いのお願い・・・

*なるべく担任の先生がすぐに確認できる場所に置いて保管してください。

*個人情報の取り扱いには、十分ご注意ください。ますようお願い申し上げます。

*支援に関わらない第三者に情報を提供すること、または承諾なしに二次的に使用しないようお願い致します。



プロフィール

氏名： ふりがな

緊急連絡先：

その他：



長所・得意・好きなこと

長所：例) 慎重・好きなことへの集中力が高い

得意・好きなこと：例) LEGO・電車・生き物



苦手・嫌いなこと ／対応法

例) 行動の切り替え⇒
○分で終わりにして、～しに行こう！など
次の行動へポジティブ発言で促しています。



子どもの特性

詳細・補助内容

全体的行動：こだわり・集中力・衝動性など

例) じっと座ってられません。一つのことに集中するのが苦手で注意力散漫です

社会性：集団活動への参加・相手の気持ち理解
子ども同士や大人への関わりなど

例) 状況や相手の気持ちを理解せず、自分の思っていることを話してしまうことがあります
⇒その都度、説明するようにしています



子どもの特性

その他



感覚の過敏性

身体的特徴や感じ方に関してご記入ください

⇒対応策

例) 光が苦手です⇒外では帽子をかぶせています。黒板も太陽光で見にくい時もあるようです。ノート
の白が眩しい時は色のついたノートにしています

身体的特徴や感じ方に関してご記入ください

⇒対応策



その他お伝えしたいこと

A large, empty rounded rectangular box with a pink border, intended for writing additional information.



先生からのコメント

先生へ

このページは、担任交代のタイミングで前の担任の先生から新しい担任に向けて書いていただくページです。
これまで子どもの様子と対応について、ご記入お願いいたします。

子どもの学校での様子など

例) 集団に入っていくのが苦手。1人でいることが多かった

対応策

例) 集団活動の時には入っていけるよう、声をかけました。
その中で発言する機会も作り、輪に溶け込むようにしました

その他

記入日
記入者

年 月 日



コミュニケーションブック の活用法

担任とお母さんがコミュニケーションブックのやりとりをするタイミングを記載します。

下記のタイミングで情報の追記をお願いします

- 個人面談のあと

- 学期始め

- 学期終わり

- その他
各学期に面談を希望します



参考

子どもとのコミュニケーションがスムーズになる 4つのステップ

STEP1 楽しく会話をスタート♪

子どもの好ましい行動に肯定的な注目をして、声かけをする

例) 「こんなに進んでるね!」「しっかり説明聞けてるね!!」
「もう課題終わったの!？」

STEP2 わかりやすい指示出し

課題を分解し、子どもが行動しやすい指示を出す

例) 「～分までにやろう!」「あと5分で終わりだよ」
「1番の問題からやってみよう!!」

STEP3 子どもの感情に巻き込まれない

- ・子どもの思考や行動を一定の距離感を保って待つ
- ・取り合うべきでない子どもの行動は見て見ぬ振りをする。
- ・手助けが必要なならサポートする。

STEP4 肯定して会話を終わる

会話の最後は必ず肯定で。
その行動に対して成功体験の記憶が残ります

例) 「時間内でできたね!」「順番に問題とけてるね!」「
もう終わったんだね!？」

<発達科学コミュニケーション>

子どもの発達を4つのステップ(p12)で促すコミュニケーション法です。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

・パステル総研WEBサイト <https://desc-lab.com/>



参考

発達科学コミュニケーション式 子どもが喜ぶ言葉&やる気アップの声かけ

褒める

がんばったね！！
上手にできたね！
すごい！！

励ます

もうここまでできたの！？
あと少しだね♪
(やっている最中に言う)

興味を示す

何書いているの～？
コレってなに？
何してるの？

喜ぶ・驚く

きれいにしてくれて
嬉しい！
もう準備できたの！？

感謝する

荷物運んでくれて
ありがとう！！
ゴミ拾いしてくれて
ありがとう！

実況中継

宿題しているんだね！
本読んでるんだね～。
ただ今、明日の準備を
しております！

行動の途中でこまめに声をかけましょう！



お母さんへ

コミュニケーションブックの使用方法

- *主に軽度、グレーゾーンのお子さまをサポートすることを想定して作成しています。
- *診断検査の結果は、必要に応じて別学校にご提出ください。
- *お子さまの支援には、本サポートブックに加えて先生とのコミュニケーションが欠かせません。困り事は、その都度話し合って対応していきましょう。
- *学校でも全ての事柄に対応できるわけではないことをご理解の上、ご活用ください。